



平塚市民病院

地域医療支援病院 災害拠点病院 神奈川県がん診療連携指定病院

広報誌

2022 Summer vol.39

Hiratsuka City Hospital

私たちは、地域医療と市民生命をまもります

SMILE!

ス マ イ ル
～毎日笑顔で～



撮影：三谷 理奈（放射線技術科）
※撮影のためガウンを着用しております

①② 特集 センター診療機能紹介① 乳腺センター

③④ 乳腺センターの取り組み

⑤ 看護のこころ Vol.13 看護補助者「ケアアシスタント」を紹介します

⑥ 第8回リハビリ通信 はじめましてリハビリテーション技術科

⑦ 表紙の写真解説

乳腺センター

当院には5つのセンター診療機能があります。
今回は乳腺センターについてご紹介します。

Hanamizu Ribbon



進行乳がん撲滅を目指す
オリジナルシンボルマーク

臨床検査科

精度の高い乳房のエコー検査を行っています。



エコー検査室

放射線技術科

認定資格をもつ技師がマンモグラフィ撮影を行っています。

形成外科

形成外科

乳房の再建や乳がん術後の上肢のむくみ（リンパ浮腫）等も診療しています。

看護部

女性専用病棟があります。乳がん看護認定看護師を目指して現在養成機関において研修中です。

薬剤部

安心して治療していただくために薬の効果や副作用について説明しています。

乳腺センター

多職種連携
患者さん一
寄り添いま
す

乳腺外科

手術を中心に、乳腺疾患に幅広く対応しています。



放射線診断科

CT、MRI、RIなどの画像診断を正確に行ってています。



放射線療法室

病理診断科

最適な治療方法を決定するため、患者さんから採取した組織を調べ、主治医に結果を伝えます。

放射線治療科

専門医、専任技師が放射線治療を行っています。



化学療法室

緩和ケア内科・精神科

一人ひとりの状況に応じた適切なサポートが行えるよう「診断時からの緩和ケア」を提供します。

化学療法室

外来通院による抗がん剤の点滴治療を行っています。

乳腺センター紹介

平塚市民病院では、乳がん診療を担当する専門各科・部署を有機的に統合し、乳がんに対する治療効果を最大限に発揮するために2015年に乳腺センターを立ち上げました。

以降、今までさまざまな取組を行い機能が向上しています。最近のトピックスをご紹介します。

一つ目は、令和4年春に最新のマンモグラフィ撮影装置を導入しました。これにより詳細に病変を見つけることが可能になりました。

二つ目は、化学療法を受ける患者さんの苦痛を少しでも和らげたいとの思いから、近隣では初めてとなる頭皮冷却装置を導入しました。

三つ目は、放射線専門医が増員になり、常勤・非常勤あわせて4名体制となりました。原発乳がん患者さんはもちろんのこと、再発患者さんにもさらに幅広く対応できるようになりました。

センター長あいさつ

現在、乳がんの患者数は増加傾向にあり、その治療は多岐にわたり、かつ複雑になってきています。

平塚市民病院での乳がん治療は、乳腺外科が中心となり、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、形成外科、精神科、緩和ケア内科、看護部、薬剤部、臨床検査科、放射線技術科が担当しています。

これらの専門各科を乳腺センターに有機的に統合し、チーム医療として行うことにより、乳がんに対する治療効果を最大限に発揮していきます。



乳腺センター長
米山 公康

センター診療機能について詳しくは、病院ホームページをご覧ください。



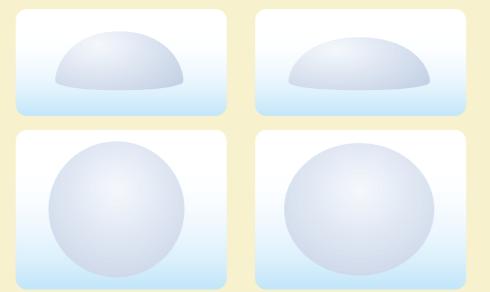
乳腺センターの取り組み

3D(トモシンセシス)システムマンモラフィ

乳房3D(トモシンセシス)システムを搭載したマンモラフィ撮影装置を導入しました。トモシンセシスとは、乳房を複数方向から撮影し薄いスライス画像に再構成する技術のことです。従来のマンモラフィでは見つけにくかった、乳房に埋もれた病変の発見がしやすくなり、比較的乳腺濃度の高い方にも有効です。従来のマンモラフィ検査と同様に胸を挟んで撮影します。撮影時間は10秒程度、1回の圧迫で撮影できるため、従来の検査とほぼ変わらずに検査を受けていただくことができます。



乳房再建手術について



再建術で挿入するインプラントには、形、サイズ、表面の性質など、様々なバリエーションがあります。

形成外科では、乳がんの治療によって失われた乳房を、「乳房再建術」という手術により、元の形にできる限り近づけるお手伝いをしています。乳房再建術には、自分の皮膚や脂肪、筋肉を背中やお腹などから移動させる自家組織再建と、ティッシュエキスパンダーやインプラントとよばれる人工物を用いた再建があります。それぞれに長所、短所があり、乳房の形態や年齢、患者さんのご希望によってどちらを用いるかが決定されます。

これから乳がんの手術を受けられる方、また、既に手術を受けた後の方でも乳房再建にご興味がある方はぜひ乳腺外科の担当医師、又は形成外科外来までご相談ください。

年2回の「日曜乳がん検査」を開催

当院では、子育て・介護・仕事・家事などで忙しく、平日に検診を受けに行きにくい女性の皆さんのが検診を受けられるように「日曜乳がん検査」を6月と10月に開催しています。(今年度は10月16日(日)に開催予定です。)

マンモラフィ検査、エコー検査、医師による触診、結果説明のコースになっています。実施日や予約方法については広報ひらつかや病院ホームページでお知らせします。



放射線治療

放射線治療では、放射線治療専門医4名(内1名は女性医師)、品質管理士2名、放射線専任技師3名が治療にあたっています。

照射では、SGRT(体表面画像誘導放射線治療)により、治療計画どおりの正確な位置照射を行っています。高解像度カメラを使用して、患者さんの皮膚表面をスキャンし、3次元的に高精度な位置合わせを行うことができます。X線を使用していないため非侵襲で被ばくもありません。また、左乳房温存術後照射で問題となる心臓への有害事象を避けるためDIBH(深吸気止め照射)を開始しました。息を吸って止めることで、肺の空気量を増やし、心臓を照射野から外すことができます。



● 化学療法を受ける方へ頭皮冷却装置のご紹介 ●

抗がん剤治療と脱毛について

抗がん剤治療を始める前に一番よく質問されることが、脱毛に関することです。抗がん剤治療では、薬剤の種類や頻度によって異なりますが、脱毛が生じることがあります。がんの発症ということだけでも精神的なストレスを抱えるうえに、見た目が変わる脱毛が生じることは、さらに大きな負担になります。

抗がん剤により毛包(毛の根本)が損傷し、治療開始から約2週間で脱毛し始め、抗がん剤の種類によつては頭髪のほとんどが脱落します。抗がん剤治療が終了すると発毛はしますが、髪質が変化(白髪や縮毛)したり、元の状態に戻るまでに1~2年を要します。多くの患者さんはウイッグ等を使用しています。

脱毛を抑制する頭皮冷却装置導入

当院では、抗がん剤の脱毛を少しでも抑えようと、2021年6月に頭皮冷却装置(パックスマン)を導入しました。抗がん剤投与前から頭皮冷却装置を使用し頭皮を冷却することで、毛包周囲への血流を減少させ脱毛が抑制できると期待されています。完全に脱毛を回避することはできませんが、脱毛しても髪の毛の生え変わりのスピードが速く、元の髪形に戻るまでのウイッグの装着期間が短くなるといわれています。頭皮冷却は、抗がん剤の投与30分前から始め、投与終了後90分間行います。

化学療法室で冷却を行うためには専用のキャップが必要なため、個人用キャップを試着して購入していただきます。

患者さんの声

- 最初は冷たいけど、10分程で頭の感覚がなくなり慣れてくる感じ。
- 今のところ、人目を気にせず生活ができるからよかった。
- がんになると失うものばかりだけど、髪の毛が少しでもあれば気持ちが違う。



5つのセンター診療機能

当院には、救命救急センター、脳卒中センター、乳腺センター、心臓大動脈センター、血管センターの五つのセンター診療機能があります。順次、紹介する予定です。

キラリ
看護のこころ

vol.13 看護補助者 ケアアシスタントを紹介します

ケアアシスタントは、看護師の指示のもと、患者さんの食事、着替え、入浴、体位変換等の介助を行っています。

◆◆◆ ケアアシスタントは質の高い看護を提供するチームの一員として活躍しています。 ◆◆◆



技術を磨いています～研修会を開催～

ケアアシスタントが働くために必要な知識や技術に関する、基本研修を行っています。



市民病院で働きませんか～説明会を開催～



ケアアシスタントってどんな仕事をしているの？どんな人たちが働いているの？そんな疑問に、地域の公民館へ出向き、直接仕事内容や魅力についてケアアシスタント自らが説明しています。



ケアアシスタントについて詳しくは、病院ホームページをご覧ください。

第8回

リハビリ通信

はじめまして リハビリテーション技術科

リハビリテーション技術科のスタッフが、みなさんに知ってほしい情報をお伝えしていくコーナーです。今回は4月から新体制になったリハビリテーション技術科を紹介します。



言語
聴覚士



言語聴覚士 (ST)

「話す・聞く・食べる」のスペシャリスト。脳卒中後の失語症に対する治療や、飲み込みの練習を行います。



作業療法士 (OT)

歯みがき・トイレ・家事・買い物・仕事などができるように「作業」を通じ、その人らしい、生活機能改善を行います。



作業
療法士



支えます！私たちにお任せください



リハビリテーション室の外には
専用の庭園があります。



理学療法士 (PT)

基本動作能力（座る・立つ・歩く）の回復、維持、障がい悪化の予防を行います。



理学
療法士

リハビリテーション技術科は、神経、骨・関節、内臓疾患などにより、何らかの障がいをきたした患者さんに対して、診断・評価を行い、機能障がいや能力低下などからの回復を促す治療により、日常生活の自立や社会復帰を目指すことをお手伝いしています。

当科では、理学療法士 (PT)、作業療法士 (OT)、言語聴覚士 (ST) がそれぞれの専門治療を行っています。

当院におけるリハビリの特徴は、発症や術後早期からリハビリを開始していることです。一般病棟だけでなく、救急病棟や ICU に入院されている患者さんに対して、リハビリ室やベッドサイドでリハビリを実施しています。

※リハビリテーション技術科単独の受診はできません。まずは各診療科にご相談ください。

マンモグラフィ撮影装置



最新のマンモグラフィ撮影装置を導入

当院で約10年間使用していた乳房用X線診断装置（マンモグラフィ）を最新の機器へ更新しました。

マンモグラフィとは、乳房専用のX線撮影装置のことです。乳房を板で圧迫し、薄く伸ばした状態で撮影します。圧迫する際に痛みを感じることもありますが、圧迫することで被ばく線量が抑えられ、動きのない鮮明な画像を得られます。

新しい機器は、乳房をのせたり、わきの下をあてたりする撮影台部分が丸みのあるつくりとなっているため、乳房を圧迫する際に生じる痛みや不快感を与えにくく工夫されています。

また、トモシンセシスという最新の撮影技術が搭載されており、マンモグラフィが苦手としている日本人に多い高濃度乳腺でも病変の見落としの可能性が少なくなります。さらに、トモシンセシスを活用したマンモトーム生検検査も可能となり、従来よりも高い精度で、かつ短い検査時間で目的の組織を採取することが可能です。



地図・交通アクセス

【路線バスをご利用の方】

- JR東海道線 平塚駅北口からバスで15分
平21、22、26、77 金田公民館行き、市民病院行き、
市民病院経由東海大学行き、市民病院経由高村団地行き
「市民病院前」下車 運賃：現金 200円、ICカード199円
- 伊勢原方面から平塚駅行「中原下宿」バス停下車、ヘルシーロード徒歩約20分
- 秦野方面から平塚駅行「南原」バス停下車、徒歩約10分



【シャトルバス】

- 市内神田地区から市民病院へ便利なシャトルバスも運行しています。
〔運行日〕市民病院外来診療日
〔休運日〕土曜日、日曜日、祝日及び年末年始(12月29日から1月3日)
〔運賃〕大人…1乗車260円
小学生、割引運賃適用者(※)…130円
未就学児…無料
現金 前払い(回数券、ICカードは使えません。)
※身体障害者手帳または療育手帳をお持ちの方と、
その介護者の方



【車をご利用の方】

- 午前は、大変混雑しますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- 信号「平塚市民病院入口」から進入してください。
- 外来駐車場（有料）
〔利用時間〕午前7時00分～午後7時30分
〔料金〕外来患者…入場後30分無料、同90分100円、以降すべて200円
一般…入場後30分無料、同90分100円、以降1時間ごとに100円加算
交通系電子マネーでの支払いが可能になりました。（面会含む）



Hiratsuka City Hospital

 平塚市民病院

〒254-0065 神奈川県平塚市南原 1-19-1

TEL:0463-32-0015 FAX:0463-31-2847

URL <https://www.hiratsuka-city-hospital.jp/>

休診日:土曜日・日曜日・祝日 年末年始(12月29日～1月3日)

